



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第49号
令和4年 3月24日

デジタルはアナログの学びの上で生かされる。 ～デジタル時代に生きていくために一番大切なこと～



左上の写真は、2年生の児童がタブレットを使い、自分たちの特技を発表するための動画撮影をしているところです。子供たちは、担任の先生がつかなくても自分たちでどんな動画に仕上げるかを話し合い、せりふや動作を決め、何度もリハーサルをしていました。

右上の写真は、3年生がこれまでの学習のまとめとして各々がテーマを決め、プレゼンテーションソフトを使い、発表資料を作っているところです。写真の児童は、「交通事故を起こさないためにはどうしたらいいのか」というテーマで資料作りを行っていました。

本校は、文部科学省の「GIGAスクール構想」で児童一人一人にタブレット端末が配備されています。コロナ禍の中、子供たちの学びを止めないためにも、積極的にデジタル技術の活用を図ってきました。上記で紹介したような動画撮影やプレゼンテーションソフトを使った発表資料作りは、数年前まで上学年しか行っていませんでした。それが今では、発表方法の一つとして、下学年でも普通に行っている姿が見られるようになってきました。



左の写真は、3年生の子供たちが理科の学習で学んだ「音の性質」を使って糸電話をしているところです。3年生の理科では、1年間の振り返りとして、今まで学習してきた風やゴム、電気や磁石などの性質を生かしていろいろなおもちゃを作り、「おもちゃショー」を開きました。子供たちは、これまでの学習を思い出しながら創造性を使っておもしろい遊びをたくさん考え、友達と楽しんでいました。

今後、デジタル化の流れは止まることがないと思います。しかし、課題もあります。家庭の中でスマホやタブレットなどの利用時間が長いと睡眠時間が短くなり、睡眠の質も悪くなります。授業中に居眠りをするようにもなります。また衝動的で攻撃的になり、家庭学習の時間も減ります。当然のことながら成績も伸び悩みます。

マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏やアップル創業者のスティーブ・ジョブズ氏が、自分の子にスマホを持たせず、家族にいるときは電子デバイスを禁止したのは有名な話です。本校では、「デジタルはアナログの学びの上で生かされる」と考え、デジタルに置き換えられない価値あるものを授業の中に取り入れ、「なぜ」と立ち止まって考えられる子供を育てていきます。